

講演会

萩原朔太郎と芥川龍之介

——「猫町」と「妖婆」「河童」など



萩原朔太郎

『新女苑』第5巻第9号 実業之日本社

芥川龍之介「萩原朔太郎君」

萩原君は今日の詩人たちよりも
恐らくは明日の詩人たちに
大きい影響を与へるであらう。

芥川龍之介

彼は詩を熱情してゐる小説家である。

萩原朔太郎「芥川龍之介の死」



芥川龍之介

『近代日本人の肖像』 国立国会図書館

大正14年4月、萩原朔太郎が芥川龍之介のいる田端へ転入。龍之介は「僕の小説を萩原君にも読んで貰ひ、出来るだけ啓発をうけたい」と、朔太郎がやって来たことを非常に喜び、交友を深め、のちに朔太郎もまた、「文壇に於ける唯一の詩の理解者」と龍之介を評しました。

二人の出会いから100年、その交友と作品について萩原朔太郎研究者、安智史氏が語ります。

参加費
無料

2025

9/6土

14:00開演
(13:30開場)

田端文士村記念館 多目的ホール

JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分 ※駐車・駐輪は隣接の有料施設をご利用ください。

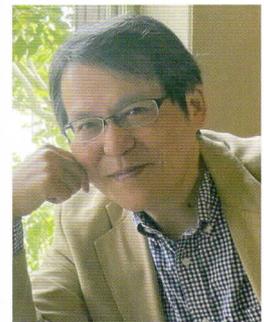
●申込：専用フォームまたは往復はがきで
8月18日(月) 必着。1件につき2名まで可。

往信用裏面：①イベント名
②住所③氏名(2名の場合は
全員分)④電話番号⑤年齢
返信面表面：応募者の住所・
氏名



●定員：100名(抽選、全席自由)

専用フォーム▲



講師：安智史氏 愛知大学短期大学部教授

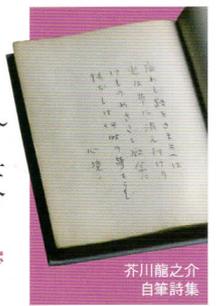
1964年茨城県生まれ。四季派学会代表理事。萩原朔太郎研究会幹事。著書『萩原朔太郎と詩的言語の近代 江戸川乱歩、丸山薫、中原中也、四季派、民衆詩派など』(思潮社)で第26回小野十三郎賞詩評論部門受賞。他の著書に『萩原朔太郎というメディア ひき裂かれる近代／詩人』(森話社)、共著(監修)に『萩原朔太郎大全』(春陽堂)、編著に『詩人はすべて宿命である 萩原朔太郎による詩のレッスン』(国書刊行会)などがある。

関連企画展 入場無料

龍之介・犀星のもとに 集った詩人～「詩のみやこ」から100年～

室生犀星、萩原朔太郎、堀辰雄など、田端文士村の詩人たちを紹介。初公開の「芥川龍之介自筆詩集」は必見!

2025.6/7(土)▶9/13(土)まで
10:00~17:00 (入館は16:30まで) ※休館日を除く



芥川龍之介
自筆詩集

主催
宛先
問合せ

(公財)北区文化振興財団

田端文士村記念館
TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



〒114-8523 東京都北区田端6-1-2 ☎03-5685-5171
<https://kitabunka.or.jp/tabata/> ✉@bunshimura